

# こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告  
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 203 2014.11.5 連絡先 402-1622 >

## 会場はたくさんの人人人

### — 第41回赤旗まつり

11月1, 2日、東京夢の島で開催された第41回赤旗まつりに行ってきました。1日目は雨で人では少なめ（それでも4万人だとか）でしたが、晴れた2日目は8万人が参加し、中央舞台の前は人で埋め尽くされ移動もままならず、バザールや物産展の通りも人人人。仲間と一緒に歩いても、すぐに見失ってしまいそう。はぐれないよう、目当てのお店も見落とさないよう、注意して歩きます。

会場にはまた、たすきをかけた人があちらにもこちらにも。全国の議員・候補者たちです。山下書記局長の紹介では、中央舞台を埋めた国会・県会の候補者、舞台の前にはいっぱい東京の候補者、会場に散らばった他の地域の候補者たちがそれぞれ声援を受けました。来たるべき一斉地方選挙で勝利を！全国で誓い合った瞬間でした。

下の写真は、志位委員長の記念講演を聞く会場いっぱいの参加者（赤旗しんぶんより）です。文字通り全国から集まった、同じ思いを共有できる仲間がこんなにいる。そして、日本中にもっともっと大勢の仲間がいる。みんなで元気になれた、みんなを元気にした「まつり」でした。



#### みち子のひとりごと 赤旗まつり

和歌山から一緒に行ったのは、35歳から92歳までの19名。東京では、乗り換えのときに切符を買い間違えたり、トイレ休憩のさいに確認ミスで1人を置き去りにしてしまったりなど、笑ってばかりいられないこともありましたが、全員元気に無事帰ってくる事ができました。

私は引率責任者ではなかったのですが、少しは東京の地に慣れていくという事で、お手伝いをしていたのでホッとしています。

私自身は、以前住んでいた茨城などの仲間と会うこと、本場の「うたごえ喫茶」に行くこと、あこがれの楽器「オカリナ」を手に入れること、これらを目標に参加し、全部クリアできました。さらに、全く考えもしていなかった人に、ほぼ35年ぶりに再会し、人の縁の不思議さを感じました。



## こんにちはかとう直人です



を自身  
た時間  
残され  
のため  
の病氣  
が自身  
ご自身

思っ場所へ自信を持って出  
て、どこへでも一番いいと  
人に出会い、いい仕事をし  
いいお芝居を観ているんな  
食べてあちこち旅をして、  
いること、美味しいものを  
を明るく暖かくして待つて  
大事にしてあげること、家  
ら伴侶といつも一緒に居て  
「本当に人生は短い。だか  
河野さんが娘に残した言葉。  
こそ思いをさらけ出せると。  
と家族が向きあい、短歌で

て行くこと、着付けを習っ  
て着物を着てね、歌人とし  
てひとつだけ、古典を讀ん  
でください」とことん楽し  
んでね、豊かにね、自分ら  
しくね、私の分までね、と  
伝えたかったんだなと、命  
には限りがあつても家族の  
心に、短歌の中に永遠に生  
き続けていく。生きていく  
ことの値打ちを見つめ続け  
よと教えられたようだ。

友人に薦められて歌人の  
河野裕子（かわのゆうこ）  
さんと家族の記した単行本  
を讀んだ。夫も長男長女も  
皆、歌を讀む人だ。日々の  
暮らしを短歌とエッセーで  
紡ぎリレーする。河野さん

## 赤旗まつり 私のまわりの“こぼれ話”

・東京都町田市の知り合いに会い、「私、吹上に住んでいて、和歌山放送で働いていたんだよ」との話にびっくり。その後、茨城県の知り合いの夫が「ぼくは鷹匠町で生まれて、向陽高校を出てる。一つ先輩の さんのことはよく知ってるよ」との話。世間は狭いと思うとともに、和歌山から出てしまった人がどれだけ多いかの証明にもなったような。

・途中駅に置き去りにされてしまったAさん。合流後、怒ることもなく「行程表があったから来られたわ。人ばかり頼らんと自分でも見るようにせなあかんね。」との言葉。  
尊敬。

・初日は雨で座る場所がなく歩いて歩いて14188歩。2日目は人が多くて座る場所がなくてやはり歩いて歩いて13332歩。意外と少ない？

・うたごえ喫茶は1ステージ45分。参加した回の最多リクエストは「地底の歌」だったそう。炭鉱労働をテーマにした組曲をフルコーラス10分以上、みごとに歌いあげた。本場のうたごえ喫茶ならでは。曲を知らない私は感動しながら聞いていた。

### 学習会

介護保険「改正」に地域から、どう立ち向かうか？

11月15日（土）14:00 ~ 16:00

日下部雅喜 氏（大阪社保協）

あいあいセンター3階会議室1

大きな改定が始まる2015年。利用者さん、家族のために、私たちがこれからできることって何でしょうか。いましっかりと学習を深めて、これからは活かしていきましょう

問合せ：介護保険の改善をめざす和歌山実行委員会 425-9355（佐藤）